

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	るーと			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (26家族)	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～	2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間	2024年 10月 18日		～	2024年 12月 20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	16箇所	(回答数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 26日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先施設の状況に合わせた提案ができていないこと。	お子さんの状況だけでなく、訪問先の状況も考慮した上で、実現可能な方法を一緒に相談できるようにしている。	訪問支援の目的やお子さんの目標とする姿の共有を行うことによって、より共通認識を持った上で支援について相談できる状況を作っていく。
2	作業療法士が訪問することによって、医学的な視点や身体的な視点、どのように活動への参加を促していくかという視点、など多角的な視点での提案を行うことができる。	色々な視点から状況を捉えることを意識しており、そこから状況に合わせた提案ができるように努めている。	視野を広く持ちながら、それらの視点や情報を訪問先の先生方と共有できるように考えていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援の際に使用する教具等について保護者の方との共有ができていないこと。	常に使用する教具等はなく、その時の状況に応じて考えていくため、どのような道具を用意しているといった具体的な説明はしていなかったことが要因として考えられる。(訪問支援の際に提案したものは共有することができている)	契約時や初回面談時に訪問時の具体的な取り組みをイメージしていただきやすいような説明を取り入れること。
2	訪問先施設と保護者の方のニーズが共有しきれていないことがある。	保育所等訪問支援の目的やニーズに対する共有が不十分な面があったことが要因と考えます。	訪問先とご家族を交えた会議や訪問前のご説明の場面などにおいて、明確に目的やニーズを共有することを意識して説明すること。また、それを児童発達支援管理責任者、訪問支援員全体で共有すること。
3			

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	2025年 1月 14日
るーと	利用児童数	29 (16箇所) 回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	10			対象児にとって、今必要な動作や作業を丁寧に指導して下さるのですぐに実践することができる。 事業所での生徒の様子をわかりやすく教えて頂き参考になる。	引き続き、具体的に取り入れやすい支援について考えながら、園や学校の先生方と相談していきたいと考えています。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	10			専門的な知識をわかりやすく伝えてくださっており、満足している。 どのように支援すればよいか、具体的に教えてくださり、とても参考になっています。	引き続き、知識・技術を研鑽しながら、園や学校での支援につながるように取り組んでいきたいと思います。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	10			生活の中で細かい困りごとについての支援方法を一緒に考え、アドバイスして下さっている。 具体的な指示、見通しがわかる支援の大切さなど適切な回答を頂けた。	引き続き、園や学校の環境も考慮しながら、実現可能なことを考え、相談していきたいと思います。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	9	1		実際の子どもの様子を見てのアドバイスであったり、支援員の質問や雑談に答えて下さることが大きな力になっている。 学校外の生徒の様子から、生徒の特性を多角的に見ることができた。 何事もすぐに解決できるものではないが、共通理解の元、対応を考えていきたい。	すぐに解消できないこともあります。が、私たちの視点で一緒に考えていくことはできると考えています。 少しでも課題や困りごとの解消、軽減に繋がるように相談していきたいと思います。
5	事業所からの支援に満足していますか。	9	1		園での課題と一緒に取り組んで下さるところが心強く満足している。 生徒理解を深めることに繋がっている。	

其他のご意見	ご意見を踏まえた対応
<p>保護者がこの制度を利用する目的、更新する際の目標、利用を終了する目安、継続希望であればその理由がわかればありがたいです。学校としては専門家に来ていただけるのはありがたいのですが、教師がわからないことを聞いたり、補装具の確認をお願いしたりするのは目的に合っているのかとの意見があります。</p> <p>いつも色々丁寧な教えて頂き感謝しております。ありがとうございます。今後共々よくお願いいたします。</p> <p>子どもの成長に合わせて、どのように声かけや支援をすれば良いか悩むことも多いので、いつも別の視点からの意見を聞くことができ助かっています。</p> <p>教師と一緒に児童のことを考え、よりよい指導や支援について助言していただけありがたいです。園の様子と事業所での様子が共有することができ、満足しています。</p> <p>定期的に訪問いただき、こちらの困りごとにも耳を傾けていただけるので助かっています。</p> <p>保護者の訪問支援に対するニーズを知りたいです。</p>	<p>保育所等訪問支援の目的やニーズに対する共有が不十分な面があったと思います。訪問先とご家族を交えた会議などにおいて、明確に目的やニーズを共有できるように努めていきたいと思います。</p>

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	るーと						公表日	2025年 1月 14日	
						利用児童数	29 (26家族)		
							回収数	14	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	9			5		教具教材についてご家族に説明する機会 はなかったため、契約時などに具体的に 説明していきます。		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	10			4		面談時などは事業所の一室を使用する ことが多いですが、引き続きプライバシー に配慮しながら取り組んでいきます。		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	14							
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	14							
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	14							
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14				こどもの性格や発達段階をよく理解し た上で支援してくださっている。			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14							
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	14							
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13				1	ガイドラインについて具体的に説明する 機会は持っていないため、必要性に応じ て説明できるように検討していきます。		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14							
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	13				1	訪問先施設への配慮についても、具体的 にご家族と共有できるように説明してい きます。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14							
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14							
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	14							
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	14					その時、その時、今気になっている ことを聞いて下さり、すぐに対応して いただいていることがありがたい。		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14							
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					事業所のどの職員の方も優しく、こ どもや保護者に寄り添った支援をされ ている。		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14							
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14								

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	14				普段の園生活での困りごとや行事などでの支援の仕方など、訪問先からの相談にもすぐに対応して下さり、家庭でもできることがあれば家庭での支援へと繋げていただいている。	
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	14				いつも丁寧に報告があり、どのような支援を受けているかよくわかる。	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	14					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	13			1		緊急時の対応については、契約時にご説明はしていますが、具体性に欠ける可能性があるため、説明内容を再考します。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	13			1		お子さんの様子についてお伝えはしていますが、訪問自体をどう思っているかという観点での説明をすることは少ないため、このような内容もご報告できるように考えていきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	14					

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		るーと		公表日 2025年 1月 14日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 運 備 営・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3		訪問先の状況に合わせて用意しやすいものを提案するようにしています。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		利用希望者に対し、その必要性に応じて対応することができています。	利用希望が増えてきているため、対応できる人数を増やす必要が出てくる可能性があると考えています。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		訪問支援後の振り返りやフィードバックの対応等について職員間で共有しています。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		評価表のご協力を依頼し、職員全体で意向の確認と改善点の抽出に取り組んでいます。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		従業員に対する評価表を配布し意見を集約することができましたが、制度上の理解については周知が足りていない状況です。	制度上の理解を高めるための研修や情報共有が必要であると考えています。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	第三者評価は実施できていません。また、職員間での理解のばらつきがあることが課題と考えます。	職員間での理解を共通させることがまず必要と考えます。第三者評価については実施を検討していきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		事業所内での研修の実施や外部研修へ参加によって、職員の資質の向上に努めています。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		お子さんの状況やご家族のニーズ、訪問先の環境等を考慮しながら、保育所等訪問支援計画を作成しています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		支援計画の原案をもとに、お子さんの状況やご家族のニーズ、訪問先の環境等を共有しながら検討しています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		支援計画の作成にあたっては、訪問先施設の方のお話も踏まえながら実施しています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		支援計画は職員がいつでも確認できるようにしており、それに基づいて支援ができるような環境を整えています。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		発達状況等のフォーマルな情報と共に訪問先での様子を観察しながら、お子さんの状況を把握するように努めています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		訪問支援とガイドラインのポイントについて共有した上で支援を実施しています。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		支援計画は職員がいつでも確認できるようにしており、それに基づいて支援ができるような環境を整えています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		複数で訪問支援を行う際には前回の訪問内容を確認した上で、それぞれの確認するポイントを共有して実施しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	支援終了後には訪問支援員と児童発達支援管理責任者で訪問内容の共有を行なっています。	訪問支援員の間で理解の違いがあることに対しては共有方法の統一していきます。
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		初回にお話を聞く際に園や学校の方針を確認することや訪問先の雰囲気によって、その理念や方針を確認し、それに沿うような形で提案内容等を考えています。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		訪問支援後の記録は必ず残しており、クラウド上で全ての職員が確認できるようにしています。		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		定期的に面談を実施し、保護者や訪問先の意向を確認し、必要に応じて見直しできるように努めています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1	サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加しています。訪問支援の様子は訪問後に毎回確認しています。	訪問支援員の間で理解の違いがあることに對しては、支援から共有の流れを改めて周知し、共有方法の統一していきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	必要に応じて連携できるように、保護者や相談支援員さんを通じて情報共有を行うことや直接情報共有を行うことにより体制を整えています。	訪問支援員の間で理解の違いがあることに對しては、支援から共有の流れを改めて周知し、共有方法の統一していきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		就学時の移行に際しては、これまでの支援内容やお子さんの様子を共有する時間をとり、相互理解に繋がるように努めています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		参加費の法人負担や勤務調整など研修参加のための支援を実施しています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3		自立支援協議会や子ども部会には積極的に参加しています。今年度から複数年子ども部会の部会長を担うことになっています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		訪問の報告時や保護者の方が気になることがあった時など、お子さんの状況についての情報共有を行なっています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		保育所等訪問支援単独での実施ではありませんが、法人や事業所単位でご家族向けの研修会等を開催しています。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約時に重要事項説明書を確認しながら、丁寧な説明を心がけています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		訪問前に事業の趣旨や訪問支援の目的をお伝えする時間をとっています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		支援計画作成前には必ず面談を行い、お子さんやご家族の意向を確認するようにしています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		支援計画を作成した際には、保護者の方に目標や支援内容説明を行い、同意を得ています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		訪問の報告時や保護者の方が気になることがあった時など、必要に応じてお話しする機会を作っています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	2	保育所等訪問支援単独での実施ではありませんが、事業所単位で研修会や座談会を実施しています。きょうだい同士の交流の機会はありません。	事業所単位での座談会については定期的に開催できればと考えています。その他の父母の会の活動については事業所ができることとその必要性を検討しながら取り組みを考えていきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		LINEなども活用しながら、迅速に保護者の方の相談に対応できる体制を作っています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1	保育所等訪問支援単独での実施ではありませんが、事業所単位での通信の発行やSNSでの発信は行なっています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報保護方針に従い、個人情報の管理に努めています。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		お子さんや保護者の方が話しやすい雰囲気や関係を作れるように努めています。	
訪問先	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		訪問先の先生方からのご相談に対しても、メールや電話などの手段も含めて相談する機会を作っています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		訪問支援実施後に訪問先の状況に合わせてカンファレンスの機会を作っています。	

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		訪問支援実施後に、訪問時の様子や訪問先への提案について、ご家族への情報共有を行っています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報保護方針を定めて掲示し、必要事項については契約時に個人情報使用の同意書をいただいています。また、個人情報の含まれる書類については鍵付きの書棚に保管しています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		訪問先の方針等も考慮しながら提案をするなど、信頼関係を築いていけるように努めています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		「安全管理マニュアル」として、対応マニュアルを作成しています。保護者の方へは「安全のしおり」を配布し、災害等の対応について周知しています。また、定期的な研修、訓練を実施しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		マニュアルの周知や定期的な研修、訓練を実施しています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリハット事例があった場合には、あらかじめ定めた書式に記載し、スタッフ全員で閲覧し、それぞれが気づいたことを記入しています。ICTを活用し、共有しやすい状況を作っています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待を防止するためのマニュアルを作成し、スタッフ全員に虐待防止研修を実施しています。また、定期的にセルフチェックシートで自身の状況の振り返りを実施しています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		やむをえず身体拘束を行う状況について個別支援計画書へ記載をしています。また、身体拘束を行う場合の決定については、身体拘束適正化委員会での協議の上決定し、マニュアルを作成しています。	